

相生学院 団体アベヅク▼

テニス

(第7日、神戸総合運動公園)

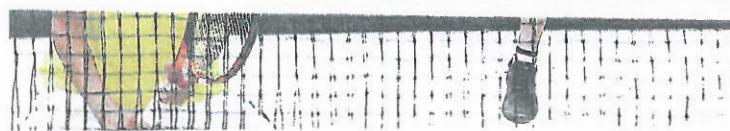
シングルスの東が勝利した後、ダブルスの丸山・高畠組もストレートで相手を退けた。テニス男子団体決勝は、相生学院が悠悠と3連覇。指揮経験を積むため、荒していく声を掛けた。チーム状態はいい」と評価した。井監督に代わって県總体限定で指揮を執った渋谷監督は「試合前、自分たちの力を信じてやれば、必ず結果はつたが、シングルスの阿多だけが、そのままに乗れなかつた。(ミスが多く、ボールを入れにいじつとしてしまつた)」。

2年連続で春の全国女王

せる。
(小川康介)
テニス女
利を挙げ

テニス女子団体決勝 シングルスで勝利を挙げた相生学院の伊藤

男子エース苦戦も3連覇



「小川康介」
甲南・棚橋勇斗主将（テニス男子）
団体で2位となり、「去年よりも成績を残せたが、相生学院を倒していく」という意気込みで、ハイレベルな戦いを展開。しかし、相手が強いという先入観があり、ベストのプレーができなかつた。実力不足が大きい」「悔しい」と語った。

テニス男子

女子 隙のない布陣で快勝



2年連続で春の全国女王に輝いた実力は抜けていた。テニス女子団体決勝は、芦屋学園・宮崎明莉主将たるテニス女子団体で昨年を相手にシングルス1の伊藤・ダブルスの古賀・田中組ともストレート勝ちを収め、2年前の決勝で敗れた芦屋学園に快勝。丸尾監督は「隙のない布陣を組んだ」と胸を張った。伊藤は6ー1、6ー2と、なかつた

中	伊	田	古	院	相	阿	高	丸	院	相	西
島	藤	中	賀	2	啓	明	2	院	生	英	甲英2
り打	6	6	6	6	△	2	2	2	2	0	0
ち切	2	2	3	1	▽	3	1	2	1	神	大付
桜	宮	木	升	0	國	体3位	3	位	決	中	教校
井	崎	嶋	崎	屋	宇	速戦	2	勝	定	決	選